

千刈狸の呟き

今、仕事のあり方についていろいろと言われている。Work-Life balanceというような恰好の良い言葉もあるし、残業時間についても厳しく調査される。仔狸は職人さんの世界というものに憧れている。職人さんは自分の持っている技術を駆使することによって収入を得る。他から収入を得られるような技術を会得するために、厳しい下積み時代を過ごす…。より高い技術を持っているものほど、更に上を目指して研鑽を積む…。寝る間を惜しんで没頭できるような職に就けたらなんと楽しい人生だろうと考える。しかし、最近は仕事よりも楽しいことが周りにあふれ、その気があれば誰でも始めることができる世の中となったため、仕事は単なる収入を得るための手段でしかなくなってしまったように思われる。誰にも迷惑が掛からないように、平均的に仕事が出来て、仕事は時間内で終わらせるか切り上げて後は家庭や趣味のために時間を費やす。とても生き甲斐のある生活だと思う。

残業が多いとか仕事がついというところが新聞にぎわしてからしばらく経つ。ブラック企業だとか、なんだとか…。行き過ぎというのはあるし、誰が見ても明らかなブラック企業もあるだろう。ブラックではないのに新狸教育が熱心なばかりに、誤解されてしまう場合もある。誰しも仕事を覚えるまでの間は一狸（人）前のことができない状態なのだから、習得したり修正する時間が必要なのではないかと思うし、この時間を不当な残業と思われてしまいそうな今の社会情勢はいかなものかと思う。残業にまつわる問題では、「大変申し訳ありませんでした」とテレビの記者会見で頭を下げていた社長さんがいた…。でも、この社長さんは若いころは誰よりもむしゃらに働き続けて今の地位に上ったのではないかと考えると気の毒に思えた。仔狸が言いたいのは、今の若い狸たちにも、楽して苦勞なく暮らしたいだけでなく、泥臭くがむしゃらに働いて他の狸が得られないような技術を身に着けたいと思っている狸がいるのではないかということである。そういう狸にとって今の仕事に対する世間一般の流れは、不自由な世の中を作っているのではないかと思う。

話は変わって、ストレスの話になるが、職場の

～仔狸のストレス～

仔 狸

「ストレスチェック」なるものが行われた。今回で2回目なのだが、職員を管理するものは職員の精神衛生も管理して、職場にストレスの原因がある場合には早急に解決策を講じなければならないのだろう。なんと仔狸は2回とも「今現在ストレスは無いし、将来ストレスの原因となるような事象も無い」のだそうだ。自分に本当にストレスが無いのか…無いのだと思う。仔狸が今の仕事を始めて二十数年になる。ただ楽しいとへらへらと過ごしてきたわけでもなかったが、仕事のあり方に悩んだり方向を変えようという気になったことは無かった。おまけに、これまでの働き先やいろいろな事で自分の希望を押し通して決めたことはほとんどなく、常に与えられた環境の中で過ごしてきた。それなのに、不満は殆ど無いと言っても良いくらいである。ストレスというのは、今置かれている環境に対する不満だとか緊張が積み重なって起こると思うが、そのほかに「あきらめない心」や「妥協しない心」が無いとストレスは成立しないような気がする。言い換えると、仔狸の置かれている環境は、全く不満が無いといえば嘘になるが、今の立ち位置は居心地が悪くない。つまり、ものすごい妥協の心が働いてストレスを感じないのだと思う。自分が今置かれた環境をストレスと感じないために、無意識のうちに妥協する心が働いて「まっ、いいか…」と思っているのだと思う。これは仔狸のHappy life以外の何物でもない。仕事に不満もない上に、趣味も満喫して生活出来ているのだから…。ただ、冷静に考えると物事の向上というものは、不満とか不自由から発生する。誰かが、もっとこうなれば良いのと思ったことを改善しようと努力をするから、いろいろな事が向上してゆく。そう考えると仔狸の周りには向上というものは無いのかもしれない。

先ほどまでの残業の話に戻るが、若い狸はこれからも守られていくのだろう。お客様の権利も守られていくのだろう…。これまで、あまり守られなかった部分が重点的に守られる事によって、どこかに隙間が出来たとき、その隙間を埋めるのはこれまでがむしゃらに会社のために働き続けて管理者責任を問われて頭を下げた狸たちになるかも知れないと思うと皮肉な話である。